

第3章 保健福祉学研究科

第3章 保健福祉学研究科

1 本研究科の学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

保健福祉学研究科は、保健・医療・福祉分野の専門職としての深い知識と卓越した能力を身に付け、各分野の課題を提起し、それを解決し得る研究能力を持つとともに、広く健康社会の発展に貢献できる研究者あるいは高度専門職業人を育成します。

本研究科では、専攻が定める博士前期課程及び博士後期課程のディプロマ・ポリシーに従い学位を授与します。

2 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

保健福祉学研究科は、学位授与の方針に掲げる人材を育成するため、専攻が定める博士前期課程及び博士後期課程のカリキュラム・ポリシーに従った教育課程を編成しています。

1 看護学専攻

授業科目表

授業時間割表

1 看護学専攻

1. 1 本専攻の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

看護学専攻は、学際的で高い看護の専門的知識と基礎的な研究能力を活かして、保健医療福祉分野における課題を解決し、国内外の看護における実践・教育・研究の場で社会のニーズに応え、貢献できる人材の育成を目指しています。

本専攻では次の能力を身に付け、かつ修了の要件を満たした者に修士(看護学)の学位を授与します。

A-1. 【高度な専門的知識・技能と情報収集能力】

ヒューマン・ケアリングに基づく看護学分野の専門的知識・技能、看護開発や政策形成過程のエビデンスにつながる情報収集能力を身に付けている。

A-2. 【専門分野の諸問題を解決できる研究能力と情報発信能力】

看護における現象を科学的根拠に基づいて説明し、看護学の諸問題を解決する研究能力と研究成果を地域・世界に向けて発信する能力を身に付けている。

B. 【ヒューマンスキル】

物事を俯瞰する普遍的な視野の立場に立ち、社会の変化に柔軟に対応できる未来型思考力とコミュニケーション能力を有し、多様な他者との協働のもと、主体的に行動する態度・意欲を身に付けている。

1. 2 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

看護学専攻は、学位授与の方針に掲げる人材を育成するため、次の教育課程を編成しています。

A-1. 【高度な専門的知識・技能と情報収集能力】

ヒューマン・ケアリングに基づく看護学分野の専門的知識・技能、情報収集能力を身に付けるため、看護学専攻共通科目群の他に、基礎看護学科目群、発達看護学科目群、広域看護学科目群を配置しています。また、異世代や多文化に対応できるコミュニケーション能力を身に付けるために幅広く保健医療福祉に共通する専攻共通科目群を配置しています。

A-2. 【専門分野の諸問題を解決できる研究能力と情報発信能力】

看護における現象を科学的根拠に基づいて説明し、看護学の諸問題を解決する研究能力と研究成果を地域・世界に向けて発信する能力を身に付けるための特別研究を各講座に配置しています。

修士論文の作成を通して、修得した専門的知識・技能を融合させ、研究課題の発見と解決に向けた研究能力を身に付けます。

B. 【ヒューマンスキル】

物事を俯瞰する普遍的な視野の立場に立ち、社会の変化に柔軟に対応できる未来型思考力とコミュニケーション能力を有し、多様な他者との協働のもと、主体的に行動する態度・意欲を身に付けるため、研究科共通基盤科目群および専攻共通科目群を配置しています。

保健福祉学専攻看護学専攻授業科目表(2022年度入学生用)

授 業 科 目 の 名 称	授業の方法	担 当 教 員 (*印は非常勤講師)	配当 年次	開 講 時間数	単位数		
					必修	選択	
看護学専攻共通科目	看護理論特論	井上 幸子	1・2	30		2	
	看護研究特論Ⅰ	森本美智子、坂下 玲子*、名越 恵美、實金 栄	1・2	30		2	
	看護研究特論Ⅱ	荻野 哲也、関根 紳太郎、沖本 克子、井上 幸子	1・2	30		2	
	統計学特論	三好 弘人*	1・2	30		2	
	看護管理特論	山田 佐登美*	1・2	30		2	
	看護教育特論	佐藤 美恵、岡崎 愉加	1・2	30		2	
	看護倫理特論	名越 恵美	1・2	30		2	
	看護法規特論	沖本 克子	1・2	30		2	
	国際保健看護学特論	未定	1・2	30		2	
	国際保健看護学特論演習	未定	1・2	30		1	
基礎看護学講座	生命科学特論	荻野 哲也	1・2	30		2	
	生命科学特論演習	荻野 哲也	1・2	30		1	
	基礎看護学特論Ⅰ	森本 美智子	1・2	30		2	
	基礎看護学特論Ⅰ演習	森本 美智子	1・2	30		1	
	基礎看護学特論Ⅱ	佐藤 美恵	1・2	30		2	
	基礎看護学特論Ⅱ演習	佐藤 美恵	1・2	30		1	
	基礎看護学特論Ⅲ	佐々木 新介	1・2	30		2	
	基礎看護学特論Ⅲ演習	佐々木 新介	1・2	30		1	
	基礎看護学特別研究	森本 美智子、荻野 哲也、佐藤 美恵、 佐々木 新介	1~2	270	9		
発達看護学講座	フィジカルアセスメント学特論	未定	1・2	30		2	
	フィジカルアセスメント学特論演習	未定	1・2	30		1	
	母子保健看護学特論Ⅰ	沖本 克子	1・2	30		2	
	母子保健看護学特論Ⅰ演習	沖本 克子	1・2	30		1	
	母子保健看護学特論Ⅱ	岡崎 愉加	1・2	30		2	
	母子保健看護学特論Ⅱ演習	岡崎 愉加	1・2	30		1	
	母子保健看護学特論Ⅲ	未定	1・2	30		2	
	母子保健看護学特論Ⅲ演習	未定	1・2	30		1	
	成人看護学特論Ⅰ	名越 恵美	1・2	30		2	
	成人看護学特論Ⅰ演習	名越 恵美	1・2	30		1	
	成人看護学特論Ⅱ	住吉 和子	1・2	30		2	
	成人看護学特論Ⅱ演習	住吉 和子	1・2	30		1	
	老年看護学特論	實金 栄	1・2	30		2	
	老年看護学特論演習	實金 栄	1・2	30		1	
	発達看護学特別研究	沖本 克子、住吉 和子、名越 恵美、實金 栄、 岡崎 愉加、未定	1~2	270	9		
広域看護学講座	地域看護学特論Ⅰ	森永 裕美子	1・2	30		2	
	地域看護学特論Ⅰ演習	森永 裕美子	1・2	30		1	
	地域看護学特論Ⅱ	李 錦純*	1・2	30		2	
	地域看護学特論Ⅱ演習	松本 啓子*	1・2	30		1	
	精神保健看護学特論	井上 幸子	1・2	30		2	
	精神保健看護学特論演習	井上 幸子	1・2	30		1	
	広域看護学特別研究	森永 裕美子、井上 幸子、未定*	1~2	270	9		
	【保健師必修科目】						
	公衆衛生看護学原論	講義	森永裕美子	1	30		2
	コミュニティ・アセスメント論	講義	森永裕美子、芳我ちより*	1	30		2
	コミュニティ・アセスメント論演習	演習	森永裕美子、芳我ちより*	1・2	60		2
	公衆衛生看護対象論	講義	森永裕美子、井上幸子	1	30		2
	公衆衛生看護対象論演習	演習	森永裕美子、井上幸子	1・2	60		2
	公衆衛生看護活動展開論	講義	森永裕美子、井上幸子、實金栄、坂野純子	1	30		2
	公衆衛生看護活動展開論演習	演習	森永裕美子、井上幸子、實金栄、坂野純子	1・2	90		3
	健康教育特論	講義	森永裕美子、長野扶佐美*	1	15		1
	公衆衛生看護管理論	講義	森永裕美子、山野井尚美*	1・2	15		1
	健康危機管理論	講義	森永裕美子、山野井尚美*	1・2	15		1
	保健統計論	講義	矢嶋 裕樹*	1	30		2
	疫学・公衆衛生学	講義	井上 幸子	1	30		2
保健医療福祉行政論	講義	森永 裕美子	1	30		2	
保健医療福祉行政論演習	演習	森永 裕美子	1	60		2	
公衆衛生看護学実習	実習	森永 裕美子、大谷美佐恵*	1	225		5	

専攻 共通	保健福祉学特論Ⅰ	講義	中村 光、伊東 秀之、岡崎 愉加、 久保田 恵、荻野 哲也	1・2	30		2
	保健福祉学特論Ⅱ	講義	坂野 純子、名越 恵美、川上 貴代	1・2	30		2
	保健福祉学特論Ⅲ	講義	荻野 哲也、田中 晃一、安久津太一	1・2	30		2
	災害医療援助特論	講義	菅波 茂*	1・2	30		2
	災害医療援助特論演習	演習	森本美智子、田中 晃一、菅波 茂*	1・2	30		1
	国際コミュニケーション特論	講義	関根 紳太郎	1・2	30		2
	海外研修(保健福祉学研究)	演習	田中 晃一 他	1・2	30		1
	研究 科 共 通 基 盤 科 目	地域社会とビジネス	講義	杉山 慎策*、渡邊 淳司	1・2	15	
地域資源学		講義	田中 晃一	1・2	15		1
知の理論		講義	未定	1・2	15		1
時事と歴史を読む		講義	末岡 浩治	1・2	15		1
データサイエンス		講義	渡邊 淳司	1・2	15		1
アカデミック・プレゼンテーション演習		演習	関根 紳太郎、末岡 浩治	1・2	30		1
創造戦略プロジェクト<食>		演習	伊東 秀之 他	1・2	120		4
創造戦略プロジェクト<ICT>		演習	榎原 勝己、佐藤 洋一郎 他	1・2	120		4
創造戦略プロジェクト<森と木>	演習	向山 徹、南川 茂樹	1・2	120		4	

【修了要件】

次の要件を全て充足すること。

- 1 2年以上在学すること。ただし、特に優れた業績を上げた者は、短縮条項を適用する。
- 2 看護学専攻の講座の講義科目のうちから12単位以上修得すること。
- 3 前記2で履修する講義科目に続く演習科目のうちから3単位以上を修得すること。
- 4 看護学専攻のいずれかの講座の特別研究9単位を修得すること。
- 5 専攻共通科目のうちから2単位以上を修得すること。
- 6 研究科共通基盤科目のうちから2単位以上を修得すること。
- 7 上記を含め合計30単位以上を修得すること。
- 8 指導教員から研究指導を受けて作成した修士論文を在学中に提出し、その審査及び最終試験に合格すること。
- 9 保健師国家試験受験資格取得には広域看護学講座（保健師必修科目）31単位を履修すること。

【注意事項】

特別研究については、積算して2年間の履修後、単位認定する。なお、特別研究について不合格の評価を受けた者は研究科委員会の承認を得て、以降直近の期末において再度評価を受けることができる。

保健福祉学研究所 看護学専攻(博士前期課程)

曜日	月						火					
時間	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1・2年前期	地域看護学特論Ⅱ (李*) 2単位 6405	基礎看護学特論Ⅲ (佐々木) 2単位 6405	疫学・公衆衛生学 (井上) 2単位 6405	精神保健看護学特論 (井上) 2単位 6405	保健統計論 (矢嶋*) 2単位 6405(6301)		看護倫理特論 (名越) 2単位 6405	フィジカルアセスメント学特論 (未定) 2単位 6405	生命科学特論 (荻野) 2単位 6405	統計学特論 (三好*) 2単位 6405	成人看護学特論Ⅱ (住吉) 2単位 6405	看護研究特論Ⅰ (森本・坂下*・名越・實金) 2単位 6405
1・2年後期	地域看護学特論Ⅱ演習 (松本*) 1単位 6405	基礎看護学特論Ⅲ演習 (佐々木) 1単位 6405	【後前期】地域資源学 (田中) 1単位 8105	精神保健看護学特論演習 (井上) 1単位 6405	母子保健看護学特論Ⅱ演習 (岡崎) 1単位 6405	母子保健看護学特論Ⅰ演習 (沖本) 1単位 6405	健康教育特論 (森永・長野*) 1単位 6405	フィジカルアセスメント学特論演習 (未定) 1単位 6301	成人看護学特論Ⅱ演習 (住吉) 1単位 6301	看護法規特論 (沖本) 2単位 6405	成人看護学特論Ⅰ演習 (名越) 1単位 6405	看護研究特論Ⅱ (荻野・関根・沖本・井上) 2単位 6405
								公衆衛生看護対象論演習 (森永・井上) 2単位 6405				

曜日	水						木					
時間	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1・2年前期	看護理論特論 (井上) 2単位 6405	看護教育特論 (佐藤美・岡崎) 2単位 6405	公衆衛生看護学原論 (森永) 2単位 6405	コミュニティアセスメント論 (森永・芳我*) 2単位 6405	公衆衛生看護対象論 (森永・井上) 2単位 6405			【前前期】知の理論 (未定) 1単位 8105	母子保健看護学特論Ⅰ (沖本) 2単位 6405	老年看護学特論 (實金) 2単位 6405	基礎看護学特論Ⅱ (佐藤美) 2単位 6405	母子保健看護学特論Ⅱ (岡崎) 2単位 6405
								【前後期】データサイエンス (渡邊) 1単位 8105				
1・2年後期	健康危機管理論 (森永・山野井*) 1単位 6405	公衆衛生看護管理論 (森永・山野井*) 1単位 6405	公衆衛生看護活動展開論演習 (森永・井上・實金・坂野) 3単位 6405							老年看護学特論演習 (實金) 1単位 6405	基礎看護学特論Ⅱ演習 (佐藤美) 1単位 6405	

曜日	金						土					
時間	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1・2年前期		アカデミックレゼンテーション演習 (関根・末岡) 1単位 8902	基礎看護学特論Ⅰ (森本) 2単位 6301	母子保健看護学特論Ⅲ (未定) 2単位 6405	地域看護学特論Ⅰ (森永) 2単位 6405	成人看護学特論Ⅰ (名越) 2単位 6405						
	公衆衛生看護活動展開論 (森永・井上・實金・坂野) 2単位 6405		保健医療福祉行政論 (森永) 2単位 6405									
1・2年後期		【後前期】地域社会とビジネス(杉山*・渡邊) 1単位 8901	基礎看護学特論Ⅰ演習 (森本) 1単位 6301	母子保健看護学特論Ⅲ演習 (未定) 1単位 6301	地域看護学特論Ⅰ演習 (森永) 1単位 6405							
	保健医療福祉行政論演習 (森永) 2単位 6405		コミュニティアセスメント論演習 (森永・芳我*) 2単位 6405									

集中授業

1・2年前期	看護管理特論(山田*) 国際保健看護学特論(未定) 災害医療援助特論(菅波*) 災害医療援助特論演習(森本・田中・菅波*) 国際コミュニケーション特論(関根)	2単位 (6301) 2単位 (6405) 2単位 (学外) 1単位 (学外) 2単位 (6405)	1・2年後期	保健福祉学特論Ⅰ(中村・伊東・岡崎・久保田・荻野) 保健福祉学特論Ⅱ(坂野・名越・川上貴) 保健福祉学特論Ⅲ(荻野・田中・安久津) 国際保健看護学特論演習(未定) 生命科学特論演習(荻野)	2単位 (6405) 2単位 (6405) 2単位 (6405) 1単位 (6405) 1単位 (6414)
1・2年通年	公衆衛生看護学実習(森永・大谷*)(1年後期、2年前期) 海外研修(保健福祉学専攻)(田中) 基礎看護学特別研究(森本・荻野・佐藤美・佐々木) 発達看護学特別研究(未定・住吉・名越・實金・沖本・岡崎・未定) 広域看護学特別研究(森永・井上・未定)	5単位 (学外) 1単位 9単位 (6405) 9単位 (6405) 9単位 (6405)	研究科共通基盤科目	創造戦略プロジェクト<食>(伊東他) 創造戦略プロジェクト<ICT>(禰原・佐藤洋他) 創造戦略プロジェクト<森と木>(向山・南川)	4単位 4単位 4単位

履修上の留意事項

- ◎ 教室は、保健福祉学部棟6405又は6301とする。(なお、変更する場合がある。)
- ◎ 各特別研究は1年次から2年次にかけて開講される2年間の通年科目である。
- ◎ 保健師課程の2年生以上は、新カリキュラムの科目は保健師の資格科目のため、履修できない。

看護学専攻カリキュラムマップ

授 業 科 目 の 名 称		学位授与の方針に対する関与の程度 ◎: 各方針に関係が深い科目 ○: 各方針に関係する科目		
		A-1	A-2	B
看護学専攻共通科目	看護理論特論	◎		
	看護研究特論Ⅰ	◎	○	
	看護研究特論Ⅱ	◎	○	
	統計学特論	◎		
	看護管理特論	◎		○
	看護教育特論	◎		○
	看護倫理特論	◎	○	○
	看護法規特論	◎		○
	国際保健看護学特論	◎		○
	国際保健看護学特論演習	◎		○
基礎看護学講座	生命科学特論	◎		
	生命科学特論演習	○	◎	
	基礎看護学特論Ⅰ	◎		
	基礎看護学特論Ⅰ演習	◎		
	基礎看護学特論Ⅱ	◎		
	基礎看護学特論Ⅱ演習	◎		
	基礎看護学特論Ⅲ	◎		
	基礎看護学特論Ⅲ演習	◎		
基礎看護学特別研究		◎		
発達看護学講座	フィジカルアセスメント学特論	◎		
	フィジカルアセスメント学特論演習	◎		
	母子保健看護学特論Ⅰ	◎		
	母子保健看護学特論Ⅰ演習	◎		○
	母子保健看護学特論Ⅱ	◎		
	母子保健看護学特論Ⅱ演習	◎		
	母子保健看護学特論Ⅲ	◎		
	母子保健看護学特論Ⅲ演習	◎		○
	成人看護学特論Ⅰ	◎	○	
	成人看護学特論Ⅰ演習	◎	○	○
	成人看護学特論Ⅱ	◎		
	成人看護学特論Ⅱ演習	◎		
	老年看護学特論	◎		
	老年看護学特論演習	◎		
発達看護学特別研究		◎	○	
広域看護学講座	地域看護学特論Ⅰ	◎		
	地域看護学特論Ⅰ演習	◎		
	地域看護学特論Ⅱ	◎		
	地域看護学特論Ⅱ演習	◎		
	精神保健看護学特論	◎		
	精神保健看護学特論演習	◎		
	広域看護学特別研究		◎	
	【保健師必修科目】			
	公衆衛生看護学原論	◎		
	コミュニティ・アセスメント論	◎		
	コミュニティ・アセスメント論演習	◎		
	公衆衛生看護対象論	◎		
	公衆衛生看護対象論演習	◎		
	公衆衛生看護活動展開論	◎		
	公衆衛生看護活動展開論演習	◎		
	健康教育論特論	◎		
	公衆衛生看護管理論	◎		
	健康危機管理論	◎		
	保健統計論	◎		
	疫学・公衆衛生学	◎		
	保健医療福祉行政論	◎		
	保健医療福祉行政論演習	◎		
	公衆衛生看護学実習	◎		
専攻共通	保健福祉学特論Ⅰ	◎		
	保健福祉学特論Ⅱ	◎		
	保健福祉学特論Ⅲ	◎		
	災害医療援助特論			◎
	災害医療援助特論演習			◎
	国際コミュニケーション特論	◎		○
海外研修(保健福祉学研究)			○	
研究科共通基盤科目	地域社会とビジネス			◎
	地域資源学			◎
	知の理論			◎
	時事と歴史を読む			◎
	データサイエンス			◎
	アカデミック・プレゼンテーション演習			◎
	創造戦略プロジェクト<食>			◎
	創造戦略プロジェクト<ICT>			◎
創造戦略プロジェクト<森と木>			◎	

看護学専攻DP

DP(学位授与の方針)
看護学専攻は、学際的で高い看護の専門的知識と基礎的な研究能力を活かして、保健医療福祉分野における課題を解決し、国内外の看護における実践・教育・研究の場で社会のニーズに応え、貢献できる人材の育成を目指しています。 本専攻では次の能力を身に付け、かつ修了の要件を満たした者に修士(看護学)の学位を授与します。
A-1【高度な専門的知識・技能と情報収集能力】 ヒューマン・ケアリングに基づく看護学分野の専門的知識・技能、看護開発や政策形成過程のエビデンスにつながる情報収集能力を身に付けている。
A-2【専門分野の諸問題を解決できる研究能力と情報発信能力】 看護における現象を科学的根拠に基づいて説明し、看護学の諸問題を解決する研究能力と研究成果を地域・世界に向けて発信する能力を身に付けている。
B【ヒューマンスキル】 物事を俯瞰する普遍的な視野の立場に立ち、社会の変化に柔軟に対応できる未来型思考力とコミュニケーション能力を有し、多様な他者との協働のもと、主体的に行動する態度・意欲を身に付けている。

看護学

2 栄養学専攻

授業科目表

授業時間割表

2 栄養学専攻

2. 1 本専攻の学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

栄養学専攻は、食品の機能や臨床栄養などの人の健康に関連した栄養学的な諸問題を解決できる優れた専門性を備えるとともに、豊かな創造力と問題解決能力を身に付け、社会のニーズに応えることができる人材の育成を目指しています。

本専攻では次の能力を身に付け、かつ修了の要件を満たした者に修士(栄養学)の学位を授与します。

A-1. 【高度な専門的知識・技能と情報収集能力】

食品機能や臨床栄養などの広範な栄養学分野の専門的知識・技能、情報収集能力を身に付けている。

A-2. 【専門分野の諸問題を解決できる研究能力と情報発信能力】

人の健康に関連した栄養学的な諸問題を解決する研究能力と研究成果を地域・世界に向けて発信する能力を身に付けている。

B. 【ヒューマンスキル】

物事を俯瞰する普遍的な視野の立場に立ち、社会の変化に柔軟に対応できる未来型思考力とコミュニケーション能力を有し、多様な他者との協働のもと、主体的に行動する態度・意欲を身に付けている。

2. 2 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

栄養学専攻は、学位授与の方針に掲げる人材を育成するため、次の教育課程を編成しています。

A-1. 【高度な専門的知識・技能と情報収集能力】

食品機能や臨床栄養などの広範な栄養学分野の専門的知識・技能、情報収集能力を身に付けるため、基礎栄養学科目群、食品栄養学科目群を配置しています。また、異世代や多文化に対応できるコミュニケーション能力を身に付けるために幅広く保健医療福祉に共通する専攻共通科目群を配置しています。

A-2. 【専門分野の諸問題を解決できる研究能力と情報発信能力】

人の健康に関連した栄養学的な諸問題を解決する研究能力と研究成果を地域・世界に向けて発信する能力を身に付けるための特別研究を各講座に配置しています。

修士論文の作成を通して、修得した専門的知識・技能を融合させ、研究課題の発見と解決に向けた研究能力を身に付けます。

B. 【ヒューマンスキル】

物事を俯瞰する普遍的な視野の立場に立ち、社会の変化に柔軟に対応できる未来型思考力とコミュニケーション能力を有し、多様な他者との協働のもと、主体的に行動する態度・意欲を身に付けるため、研究科共通基盤科目群および専攻共通科目群を配置しています。

保健福祉学研究科栄養学専攻授業科目表(2022年度入学生)

授業科目の名称	授業の方法	担当教員 (*印は非常勤講師)	配当 年次	開講 時間数	単位数		
					必修	選択	
基礎栄養学講座	分子栄養学特論	講義	山本 登志子	1・2	30		2
	分子栄養学特論演習	演習	山本 登志子	1・2	30		1
	病態栄養学特論I	講義	高橋 吉孝	1・2	30		2
	病態栄養学特論II	講義	赤木 收二*	1・2	30		2
	病態栄養学特論演習II	演習	赤木 收二*	1・2	30		1
	内科学特論	講義	入江 康至	1・2	30		2
	内科学特論演習	演習	入江 康至	1・2	30		1
	栄養教育学特論	講義	川上 貴代	1・2	30		2
	栄養教育学特論演習	演習	川上 貴代	1・2	30		1
	健康栄養学特論	講義	久保田 恵	1・2	30		2
	臨床栄養学特論	講義	首藤 恵泉	1・2	30		2
	栄養遺伝子解析学特論	講義	方 定志*	1・2	30		2
	ニュートリゲノミクス学特論	講義	加藤 久典*	1・2	30		2
	基礎栄養学特別研究	演習	高橋 吉孝、山本 登志子、川上 貴代、久保田 恵、入江 康至、首藤 恵泉	1~2	270	9	
食品栄養学講座	応用微生物学特論	講義	田中 晃一	1・2	30		2
	応用微生物学特論演習	演習	田中 晃一	1・2	30		1
	食品機能学特論	講義	伊東 秀之	1・2	30		2
	食品機能学特論演習	演習	伊東 秀之	1・2	30		1
	食品栄養科学特論	講義	山下 広美	1・2	30		2
	食品栄養科学特論演習	演習	山下 広美	1・2	30		1
	給食経営管理特論	講義	田淵 真愉美	1・2	30		2
	食品酵素学特論	講義	中島 伸佳	1・2	30		2
	食品酵素学特論演習	演習	中島 伸佳	1・2	30		1
	食品生化学特論	講義	川上 祐生	1・2	30		2
	食品生化学特論演習	演習	川上 祐生	1・2	30		1
	スポーツ栄養工学特論	講義	山下 広美、綾部 誠也	1・2	30		2
	韓国食文化学特論	講義	李 奎姫*	1・2	30		2
	食品栄養学特別研究	演習	伊東 秀之、田中 晃一、山下 広美、川上 祐生	1~2	270	9	
専攻共通	保健福祉学特論Ⅰ	講義	中村 光、伊東 秀之、岡崎 愉加、久保田 恵、荻野 哲也	1・2	30		2
	保健福祉学特論Ⅱ	講義	坂野 純子、名越 恵美、川上 貴代	1・2	30		2
	保健福祉学特論Ⅲ	講義	荻野 哲也、田中 晃一、安久津太一	1・2	30		2
	災害医療援助特論	講義	菅波 茂*	1・2	30		2
	災害医療援助特論演習	演習	森本 美智子、田中 晃一、菅波 茂*	1・2	30		1
	国際コミュニケーション特論	講義	関根 紳太郎	1・2	30		2
	海外研修(保健福祉学研究)	演習	田中 晃一他	1・2	30		1
研究科共通基盤科目	地域社会とビジネス	講義	杉山 慎策*、渡邊 淳司	1・2	15		1
	地域資源学	講義	田中 晃一	1・2	15		1
	知の理論	講義	未定	1・2	15		1
	時事と歴史を読む	講義	末岡 浩治	1・2	15		1
	データサイエンス	講義	渡邊 淳司	1・2	15		1
	アカデミック・プレゼンテーション演習	演習	関根 紳太郎、末岡 浩治	1・2	30		1
	創造戦略プロジェクト<食>	演習	伊東 秀之 他	1・2	120		4
	創造戦略プロジェクト<ICT>	演習	榊原 勝己、佐藤 洋一郎 他	1・2	120		4
創造戦略プロジェクト<森と木>	演習	向山 徹、南川 茂樹	1・2	120		4	

【修了要件】

次の要件を全て充足すること。

- 1 2年以上在学すること。ただし、特に優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。
- 2 栄養学専攻の講座の講義科目のうちから10単位以上修得すること。
- 3 栄養学専攻の講座の演習科目のうちから2単位以上修得すること。
- 4 栄養学専攻のいずれかの講座の特別研究9単位を修得すること。
- 5 専攻共通科目のうちから2単位以上修得すること。
- 6 研究科共通基盤科目のうちから2単位以上修得すること。
- 7 上記を含め合計30単位以上を修得すること。
- 8 指導教員から研究指導を受けて作成した修士論文を在学中に提出し、その審査及び最終試験に合格すること。

【注意事項】

- 1 特別研究については、積算して2年間の履修後、単位認定する。なお、特別研究について、不合格の評価を受けた者は、研究科委員会の承認を得て、以降直近の期末において再度評価を受けることができる。
- 2 専攻共通を除く科目では、外国人留学生が履修する場合に英語で開講することがある。

保健福祉学専攻 栄養学専攻 (博士前期課程)

曜日 時間	月						火					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1・2 年前期			健康栄養学 特論 〈久保田〉 2単位 6101/6102		分子栄養学 特論 〈山本〉 2単位 6101/6102	分子栄養学 特論演習 〈山本〉 1単位 6101/6102			臨床栄養学 特論 〈首藤〉 2単位 6101/6102			
1・2 年後期	食品機能学 特論 〈伊東〉 2単位 6101/6102	食品機能学 特論演習 〈伊東〉 1単位 6101/6102	[後前期] 地域資源学 〈田中〉 1単位 8105	病態栄養学 特論Ⅰ 〈高橋吉〉 2単位 6101/6102	スポーツ栄養 工学特論 〈山下・綾部〉 2単位 6101/6102				給食経営 管理特論 〈田淵〉 2単位 6101/6102	食品栄養科 学特論 〈山下〉 2単位 6101/6102	食品栄養科 学特論演習 〈山下〉 1単位 6101/6102	

曜日 時間	水						木					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1・2 年前期			食品酵素学 特論 〈中島〉 2単位 6101/6102	食品酵素学 特論演習 〈中島〉 1単位 6101/6102				[前前期] 知の理論 〈未定〉 1単位 8105				
							[前後期] データサイエ ンス 〈渡邊〉 1単位 8105					
1・2 年後期		栄養教育学 特論 〈川上貴〉 2単位 6101/6102	栄養教育学 特論演習 〈川上貴〉 1単位 6101/6102				食品生化学 特論 〈川上祐〉 2単位 6101/6102	食品生化学 特論演習 〈川上祐〉 1単位 6101/6102	内科学特論 〈入江〉 2単位 6101/6102	内科学特論演 習 〈入江〉 1単位 6101/6102		

曜日 時間	金					
	1	2	3	4	5	6
1・2 年前期		アカデミック プレゼンテーショ ン演習 〈関根、末岡〉 1単位 8902	応用微生物 学特論 〈田中〉 2単位 6101/6102	応用微生物 学特論演習 〈田中〉 1単位 6101/6102		
1・2 年後期		[後前期] 地域社会とビ ジネス 〈杉山*、渡邊〉 1単位 8901				
		[後後期] 時事と歴史を 読む 〈末岡〉 1単位 8901				

集中授業		
1・2 年前期	栄養遺伝子解析学特論〈方*〉 韓国食文化学特論〈李*〉 災害医療援助特論〈菅波*〉 災害医療援助特論演習〈森本・田中・菅波*〉 国際コミュニケーション特論〈関根〉 ニュートリゲノミクス学特論〈加藤*〉	2単位 2単位 2単位 1単位 2単位 2単位
1・2 年後期	病態栄養学特論Ⅱ〈赤木*〉 病態栄養学特論演習Ⅱ〈赤木*〉 保健福祉学特論Ⅰ〈中村 他〉 保健福祉学特論Ⅱ〈坂野 他〉 保健福祉学特論Ⅲ〈荻野 他〉	2単位 1単位 2単位 2単位 2単位
目通研 究 年1 ・ 年2 ・ 年2 科共	創造戦略プロジェクト〈食〉〈伊東他〉 創造戦略プロジェクト〈ICT〉〈榊原、佐藤洋他〉 創造戦略プロジェクト〈森と木〉〈向山、南川〉	4単位 4単位 4単位
1・2 年通	海外研修〈保健福祉学研究〉〈田中他〉 基礎栄養学特別研究 〈高橋吉、川上貴、山本、久保田、入江、首藤〉 食品栄養学特別研究 〈伊東、田中、山下、川上祐〉	1単位 9単位 9単位

履修上の留意事項

- ◎ 教室は、保健福祉学部棟6101/6102とする。(なお、変更する場合がある。)
- ◎ 各特別研究は1年次から2年次にかけて開講される2年間の通年科目である。

授業科目の名称		学位授与の方針に対する関与の程度 ◎:各方針に関係が深い科目 ○:各方針に関係する科目		
		A-1	A-2	B
基礎栄養学講座	分子栄養学特論	○		
	分子栄養学特論演習	○		
	病態栄養学特論I	○		
	病態栄養学特論II	○		
	病態栄養学特論演習II	○		
	内科学特論	○		
	内科学特論演習	○		
	栄養教育学特論	○		
	栄養教育学特論演習	○		
	健康栄養学特論	○		
	臨床栄養学特論	○		
	栄養遺伝子解析学特論	○		
ニュートリゲノミクス学特論	○			
基礎栄養学特別研究		○		
食品栄養学講座	応用微生物学特論	○		
	応用微生物学特論演習	○		
	食品機能学特論	○		
	食品機能学特論演習	○		
	食品栄養科学特論	○		
	食品栄養科学特論演習	○		
	給食経営管理特論	○		
	食品酵素学特論	○		
	食品酵素学特論演習	○		
	食品生化学特論	○		
	食品生化学特論演習	○		
	スポーツ栄養工学特論	○		
韓国食文化学特論	○			
食品栄養学特別研究		○		
専攻共通	保健福祉学特論 I	○		
	保健福祉学特論 II	○		
	保健福祉学特論 III	○		
	災害医療援助特論			○
	災害医療援助特論演習			○
	国際コミュニケーション特論	○		○
海外研修(保健福祉学研究)			○	
研究科共通基盤科目	地域社会とビジネス			○
	地域資源学			○
	知の理論			○
	時事と歴史を読む			○
	データサイエンス			○
	アカデミック・プレゼンテーション演習			○
	創造戦略プロジェクト<食>			○
創造戦略プロジェクト<ICT>			○	
創造戦略プロジェクト<森と木>			○	

栄養学専攻DP

DP(学位授与の方針)
<p>栄養学専攻は、食品の機能や臨床栄養などの人の健康に関連した栄養学的な諸問題を解決できる優れた専門性を備えるとともに、豊かな想像力と問題解決能力を身に付け、社会のニーズに応えることができる人材の育成を目指しています。</p> <p>本専攻では次の能力を身に付け、かつ修了の要件を満たした者に修士（栄養学）の学位を授与します。</p>
<p>A-1 【高度な専門的知識・技能と情報収集能力】</p> <p>食品機能や臨床栄養などの広範な栄養学分野の専門知識・技能、情報収集能力を身に付けている。</p>
<p>A-2 【専門分野の諸問題を解決できる研究能力と情報発信能力】</p> <p>人の健康に関連した栄養学的な諸問題を解決する研究能力と研究成果を地域・世界に向けて発信する能力を身に付けている。</p>
<p>B 【ヒューマンスキル】</p> <p>物事を俯瞰する普遍的な視野の立場に立ち、社会の変化に柔軟に対応できる未来型思考力とコミュニケーション能力を有し、多様な他者との協働のもと、主体的に行動する態度・意欲を身に付けている。</p>

3 保健福祉学専攻

授業科目表

授業時間割表

3 保健福祉学専攻

3. 1 本専攻の学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

保健福祉学専攻は、保健福祉学の理論と技術を修得する組織的な教育研究を行い、保健福祉に関連した臨床や政策の諸問題を解決できる優れた専門性を備えた人材の育成を目指しています。

本専攻では次の能力を身に付け、かつ修了の要件を満たした者に修士(保健福祉学)の学位を授与します。

A-1. 【高度な専門的知識・技能と情報収集能力】

保健福祉学分野の理論に基づく専門的知識・技能、情報収集能力を身に付けている。

A-2. 【専門分野の諸問題を解決できる研究能力と情報発信能力】

様々な保健福祉領域における諸問題を解決する研究能力と研究成果を地域・世界に向けて発信する能力を身に付けている。

B. 【ヒューマンスキル】

物事を俯瞰する普遍的な視野の立場に立ち、社会の変化に柔軟に対応できる未来型思考力とコミュニケーション能力を有し、多様な他者との協働のもと、主体的に行動する態度・意欲を身に付けている。

3. 2 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

保健福祉学専攻は、学位授与の方針に掲げる人材を育成するため、次の教育課程を編成しています。

A-1. 【高度な専門的知識・技能と情報収集能力】

保健福祉学分野の理論に基づく専門的知識・技能、情報収集能力を身に付けるため、政策科学科目群、社会福祉支援科学科目群、保健福祉支援科学科目群、子ども臨床科目群を配置しています。また、異世代や多文化に対応できるコミュニケーション能力を身に付けるために幅広く保健医療福祉に共通する専攻共通科目群を配置しています。

A-2. 【専門分野の諸問題を解決できる研究能力と情報発信能力】

様々な保健福祉領域における諸問題を解決する研究能力と研究成果を地域・世界に向けて発信する能力を身に付けるための特別研究を各講座に配置しています。

修士論文の作成を通して、修得した専門的知識・技能を融合させ、研究課題の発見と解決に向けた研究能力を身に付けます。

B. 【ヒューマンスキル】

物事を俯瞰する普遍的な視野の立場に立ち、社会の変化に柔軟に対応できる未来型思考力とコミュニケーション能力を有し、多様な他者との協働のもと、主体的に行動する態度・意欲を身に付けるため、研究科共通基盤科目群および専攻共通科目群を配置しています。

保健福祉学研究科保健福祉学専攻授業科目表(2022年度入学生)

授業科目の名称		授業の方法	担当教員 (*印は非常勤講師)	配当年次	開講 時間数	単位数	
						必修	選択
政策科学講座	政策科学特論	講義	岩満 賢次	1・2	30		2
	政策科学特論演習	演習	岩満 賢次	1・2	30		1
	保健福祉政策特論	講義	近藤 理恵	1・2	30		2
	保健福祉政策特論演習	演習	近藤 理恵	1・2	30		1
	社会福祉学特論	講義	未定	1・2	30		2
	社会福祉学特論演習	演習	未定	1・2	30		1
	地域福祉特論	講義	近藤 理恵	1・2	30		2
	福祉マネジメント特論	講義	喜村 仁詞	1・2	30		2
	福祉マネジメント特論演習	演習	喜村 仁詞	1・2	30		1
	政策科学特別研究	演習	近藤理恵、岩満賢次、喜村仁詞	1~2	270	9	
社会福祉支援科学講座	ソーシャルワーク特論	講義	村社 卓	1・2	30		2
	ソーシャルワーク特論演習	演習	村社 卓	1・2	30		1
	保健医療ソーシャルワーク特論	講義	竹本 与志人	1・2	30		2
	保健医療ソーシャルワーク特論演習	演習	竹本 与志人	1・2	30		1
	高齢者保健福祉特論Ⅰ	講義	中村 光	1・2	30		2
	高齢者保健福祉特論Ⅰ演習	演習	中村 光	1・2	30		1
	高齢者保健福祉特論Ⅱ	講義	桐野 匡史	1・2	30		2
	高齢者保健福祉特論Ⅱ演習	演習	桐野 匡史	1・2	30		1
	高齢者保健福祉特論Ⅲ	講義	中村 光	1・2	30		2
	精神保健福祉特論	講義	坂野 純子	1・2	30		2
	精神保健福祉特論演習	演習	坂野 純子	1・2	30		1
	精神保健ソーシャルワーク特論	講義	大倉 高志	1・2	30		2
	精神保健ソーシャルワーク特論演習	演習	大倉 高志	1・2	30		1
社会福祉支援科学特別研究	演習	村社 卓、竹本与志人、中村 光、坂野純子、桐野匡史、大倉高志	1~2	270	9		
子ども臨床講座	子ども臨床特論Ⅰ	講義	山本 孝司	1・2	30		2
	子ども臨床特論Ⅰ演習	演習	山本 孝司	1・2	30		1
	子ども臨床特論Ⅱ	講義	安久津 太一	1・2	30		2
	子ども臨床特論Ⅱ演習	演習	未定	1・2	30		1
	子ども臨床特論Ⅲ	講義	京林 由季子	1・2	30		2
	子ども臨床特論Ⅳ	講義	池田 隆英	1・2	30		2
	子ども臨床特論Ⅴ	講義	新山 順子	1・2	30		2
	子ども臨床特論Ⅴ演習	演習	新山 順子	1・2	30		1
	子ども臨床特論Ⅵ	講義	未定	1・2	30		2
	子ども臨床特論Ⅵ演習	演習	未定	1・2	30		1
	子ども臨床特論Ⅶ	講義	小畑 千晴	1・2	30		2
	子ども臨床特論Ⅶ演習	演習	小畑 千晴	1・2	30		1
	子ども臨床特別研究	演習	山本孝司、新山順子、小畑千晴	1~2	270	9	
保健福祉支援科学講座	障害者保健福祉特論	講義	高戸 仁郎	1・2	30		2
	障害者保健福祉特論演習	演習	高戸 仁郎	1・2	30		1
	身体機能障害特論	講義	高戸 仁郎	1・2	30		2
	身体機能障害特論演習	演習	高戸 仁郎	1・2	30		1
	介護科学特論Ⅰ	講義	未定	1・2	30		2
	介護科学特論Ⅰ演習	演習	未定	1・2	30		1
	介護科学特論Ⅱ	講義	佐藤 ゆかり	1・2	30		2
	介護科学特論Ⅱ演習	演習	佐藤 ゆかり	1・2	30		1
	心理臨床学特論	講義	樂木 章子	1・2	30		2
心理臨床学特論演習	演習	樂木 章子	1・2	30		1	
保健福祉支援科学特別研究	演習	高戸 仁郎、樂木章子、佐藤ゆかり	1~2	270	9		
専攻共通	保健福祉学特論Ⅰ	講義	中村 光、伊東秀之、岡崎愉加、久保田恵、荻野哲也	1・2	30		2
	保健福祉学特論Ⅱ	講義	坂野純子、名越恵美、川上貴代	1・2	30		2
	保健福祉学特論Ⅲ	講義	荻野哲也、田中晃一、安久津太一	1・2	30		2
	災害医療援助特論	講義	菅波 茂*	1・2	30		2
	災害医療援助特論演習	演習	森本 美智子、田中晃一、菅波 茂*	1・2	30		1
	国際コミュニケーション特論	講義	関根紳太郎	1・2	30		2
	海外研修(保健福祉学研究)	演習	田中晃一他	1・2	30		1

研究科共通基盤科目	地域社会とビジネス	講義	杉山 慎策*、渡邊 淳司	1・2	15		1
	地域資源学	講義	田中 晃一	1・2	15		1
	知の理論	講義	未定	1・2	15		1
	時事と歴史を読む	講義	末岡 浩治	1・2	15		1
	データサイエンス	講義	渡邊 淳司	1・2	15		1
	アカデミック・プレゼンテーション演習	演習	関根 紳太郎、末岡 浩治	1・2	30		1
	創造戦略プロジェクト<食>	演習	伊東 秀之 他	1・2	120		4
	創造戦略プロジェクト<ICT>	演習	榊原 勝己、佐藤 洋一郎 他	1・2	120		4
	創造戦略プロジェクト<森と木>	演習	向山 徹、南川 茂樹	1・2	120		4

【修了要件】

- 次の要件を全て充足すること。
- 1 2年以上在学すること。ただし、特に優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。
 - 2 保健福祉学専攻の講座の講義科目のうちから10単位以上修得すること。
 - 3 保健福祉学専攻の講座の演習科目のうちから2単位以上修得すること。
 - 4 保健福祉学専攻のいずれかの講座の特別研究9単位を修得すること。
 - 5 専攻共通科目のうちから2単位以上修得すること。
 - 6 研究科共通基盤科目のうちから2単位以上修得すること。
 - 7 上記を含め合計30単位以上を修得すること。
 - 8 指導教員から研究指導を受けて作成した修士論文を在学中に提出し、その審査及び最終試験に合格すること。

【注意事項】

特別研究については、積算して2年間の履修後、単位認定する。なお、特別研究について、不合格の評価を受けた者は、研究科委員会の承認を得て、以降直近の期末において再度評価を受けることができる。

保健福祉学研究科 保健福祉学専攻(博士前期課程)

曜日 時間	月						火					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1・2年前期			精神保健福祉特論 (坂野) 2単位 6614	子ども臨床特論Ⅲ (京林) 2単位 5214	介護科学特論Ⅰ (未定) 2単位 6614		子ども臨床特論Ⅵ (未定) 2単位 6614		心理臨床学特論 (樂木) 2単位 6614		地域福祉特論 (近藤) 2単位 6614	子ども臨床特論Ⅱ (安久津) 2単位 6614
1・2年後期		心理臨床学特論演習 (樂木) 1単位 6614	【後前期】 地域資源学(田中) 1単位 8105	精神保健福祉特論演習 (坂野) 1単位 6614	保健福祉政策特論 (近藤) 2単位 6614	保健福祉政策特論演習 (近藤) 1単位 6614	子ども臨床特論Ⅵ演習 (未定) 1単位 6614	子ども臨床特論Ⅱ演習 (未定) 1単位 6614	子ども臨床特論Ⅰ演習 (山本) 1単位 6614	子ども臨床特論Ⅴ (新山) 2単位 6614	子ども臨床特論Ⅴ演習 (新山) 1単位 6614	

曜日 時間	水						木					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1・2年前期	子ども臨床特論Ⅰ (山本) 2単位 6614	ソーシャルワーク特論 (村社) 2単位 6614	ソーシャルワーク特論演習 (村社) 1単位 6614	政策科学特論 (岩満) 2単位 6614		社会福祉学特論演習 (未定) 1単位 6614	介護科学特論Ⅱ (佐藤ゆ) 2単位 6614	【前期】 知の理論(未定) 1単位 8105			高齢者保健福祉特論Ⅰ (中村) 2単位 6614	身体機能障害特論 (高戸) 2単位 6614
1・2年後期	子ども臨床特論Ⅶ (小畑) 2単位 6614	子ども臨床特論Ⅶ演習 (小畑) 1単位 6614	子ども臨床特論Ⅳ (池田) 2単位 6614	政策科学特論演習 (岩満) 1単位 6614				【後期】 データサイエンス(渡邊) 1単位 8105			介護科学特論Ⅰ演習 (未定) 1単位 6614	障害者保健福祉特論 (高戸) 2単位 6614

曜日 時間	金					
	1	2	3	4	5	6
1・2年前期		アカデミックプレゼンテーション演習 (関根、末岡) 1単位 8902			社会福祉学特論 (未定) 2単位 6614	福祉マネジメント特論 (喜村) 2単位 6614
1・2年後期	精神保健ソーシャルワーク特論 (大倉) 2単位 6614	【後前期】 地域社会とビジネス(杉山*、渡邊) 1単位 8901 【後後期】 時事と歴史と読む(末岡) 1単位 8901	精神保健ソーシャルワーク特論演習 (大倉) 1単位 6614	介護科学特論Ⅱ演習 (佐藤ゆ) 1単位 6614	高齢者保健福祉特論Ⅲ (中村) 2単位 6614	福祉マネジメント特論演習 (喜村) 1単位 6614

集中授業			
1・2年前期	国際コミュニケーション特論	関根	2単位
	保健医療ソーシャルワーク特論	竹本	2単位
	保健医療ソーシャルワーク特論演習	竹本	1単位
	高齢者保健福祉特論Ⅰ演習	中村	1単位
	高齢者保健福祉特論Ⅱ	桐野	2単位
	災害医療援助特論	菅波*	2単位
	災害医療援助特論演習	森本 田中 菅波*	1単位
1・2年後	身体機能障害特論演習	高戸	1単位
	保健福祉学特論Ⅰ	中村他	2単位
	保健福祉学特論Ⅱ	坂野他	2単位
	保健福祉学特論Ⅲ	荻野他	2単位
1・2年通	高齢者保健福祉特論Ⅱ演習	桐野	1単位
	障害者保健福祉特論演習	高戸	1単位
	創造戦略プロジェクト<食><伊東他>		4単位
1・2年通	創造戦略プロジェクト<ICT><榊原、佐藤洋他>		4単位
	創造戦略プロジェクト<森と木><向山、南川>		4単位
	海外研修(保健福祉学研究)	田中他	1単位
	政策科学特別研究	近藤 岩満 喜村	9単位
	社会福祉支援科学特別研究	村社 竹本 中村 坂野 桐野 大倉 山本 新山 小畑	9単位
1・2年通	子ども臨床特別研究	高戸 樂木	9単位
	保健福祉支援科学特別研究	高戸 樂木 佐藤ゆ	9単位

履修上の留意事項

- ◎ 教室は、保健福祉学部棟6614とする。(なお、変更される場合がある)
- ◎ 各特別研究は、1年次から2年次にかけて開講される2年間の科目である。

保健福祉学専攻 カリキュラムマップ

授 業 科 目 の 名 称		学位授与の方針に対する関与の程度 ◎: 各方針に関係が深い科目 ○: 各方針に係る科目		
		A-1	A-2	B
政策科学講座	政策科学特論	◎		
	政策科学特論演習	◎		
	保健福祉政策特論	◎		
	保健福祉政策特論演習	◎		
	社会福祉学特論	◎		
	社会福祉学特論演習	◎		
	地域福祉特論	◎		
	福祉マネジメント特論	◎		
	福祉マネジメント特論演習	◎		
政策科学特別研究		◎		
社会福祉支援科学講座	ソーシャルワーク特論	◎		
	ソーシャルワーク特論演習	◎		
	保健医療ソーシャルワーク特論	◎		
	保健医療ソーシャルワーク特論演習	◎		
	高齢者保健福祉特論Ⅰ	◎		
	高齢者保健福祉特論Ⅰ演習	◎		
	高齢者保健福祉特論Ⅱ	◎		
	高齢者保健福祉特論Ⅱ演習	◎		
	高齢者保健福祉特論Ⅲ	◎		
	精神保健福祉特論	◎		
	精神保健福祉特論演習	◎		
	精神保健ソーシャルワーク特論	◎		
精神保健ソーシャルワーク特論演習	◎			
社会福祉支援科学特別研究		◎		
子ども臨床講座	子ども臨床特論Ⅰ	◎		
	子ども臨床特論Ⅰ演習	◎		
	子ども臨床特論Ⅱ	◎		
	子ども臨床特論Ⅱ演習	◎		
	子ども臨床特論Ⅲ	◎		
	子ども臨床特論Ⅳ	◎		
	子ども臨床特論Ⅴ	◎		
	子ども臨床特論Ⅴ演習	◎		
	子ども臨床特論Ⅵ	◎		
	子ども臨床特論Ⅵ演習	◎		
	子ども臨床特論Ⅶ	◎		
	子ども臨床特論Ⅶ演習	◎		
子ども臨床特別研究		◎		
保健福祉支援科学講座	障害者保健福祉特論	◎		
	障害者保健福祉特論演習	◎		
	身体機能障害特論	◎		
	身体機能障害特論演習	◎		
	介護科学特論Ⅰ	◎		
	介護科学特論Ⅰ演習	◎		
	介護科学特論Ⅱ	◎		
	介護科学特論Ⅱ演習	◎		
	心理臨床学特論	◎		
	心理臨床学特論演習	◎		
保健福祉支援科学特別研究		◎		
専攻共通	保健福祉学特論Ⅰ	◎		
	保健福祉学特論Ⅱ	◎		
	保健福祉学特論Ⅲ	◎		
	災害医療援助特論			◎
	災害医療援助特論演習			◎
	国際コミュニケーション特論	◎		◎
海外研修(保健福祉学研究)			◎	
研究科共通基盤科目	地域社会とビジネス			◎
	地域資源学			◎
	知の理論			◎
	時事と歴史を読む			◎
	データサイエンス			◎
	アカデミック・プレゼンテーション演習			◎
	創造戦略プロジェクト<食>			◎
	創造戦略プロジェクト<ICT>			◎
創造戦略プロジェクト<森と木>			◎	

保健福祉学専攻DP

DP(学位授与の方針)
保健福祉学専攻は、保健福祉学の理論と技術を修得する組織的な教育研究を行い、保健福祉に関連した臨床や政策の諸問題を解決できる優れた専門性を備えた人材の育成を目指しています。本専攻では次の能力を身に付け、かつ修了の要件を満たした者に、修士(保健福祉学)の学位を授与します。
A-1 【高度な専門的知識・技能と情報収集能力】 保健福祉分野の理論に基づく専門的知識・技能、情報収集能力を身に付けている。
A-2 【専門分野の諸問題を解決できる研究能力と情報発信能力】 様々な保健福祉領域における諸問題を解決する研究能力と研究成果を、地域・世界に向けて発信する能力を身に付けている。
B 【ヒューマンスキル】 物事を俯瞰する普遍的な視野の立場に立ち、社会の変化に柔軟に対応できる未来型思考力とコミュニケーション能力を有し、多様な他者との協働のもと、主体的に行動する態度・意欲を身に付けている。

保健福祉学

4 保健福祉科学専攻 (博士後期課程)

授業科目表

授業時間割表

4 保健福祉科学専攻（博士後期課程）

4. 1 本専攻の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

保健福祉科学専攻は、人間が抱える諸問題に関して、生命や栄養、看護、福祉など各方面からアプローチし、深い倫理観と総合的な判断力をもって、問題の解決策を提案できる高度な見識を備えた各専門職領域の実践者、指導者、研究者及び教育者の育成を目指しています。

本専攻では次の能力を身に付け、かつ修了の要件を満たした者に博士の学位を授与します。

A. 【高度の専門性と自立した研究遂行能力】

保健福祉科学とそれに密接に関連する学問に対する高度な専門的知識・技能，情報収集能力や高度な倫理性を持って，人間が抱える諸問題を自ら研究立案し，科学的根拠に基づいて解決に導く卓越した研究能力を身に付けている。

B. 【グローバルな情報発信能力】

研究成果を地域・世界に向けて積極的に発表するグローバルな情報発信能力並びに地域・国際社会で先導的に活躍できる能力を身に付けている。

4. 2 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

保健福祉科学専攻は、学位授与の方針に掲げる人材を育成するため、次のような教育課程を編成しています。

A. 【高度の専門性と自立した研究遂行能力】

保健福祉科学とそれに密接に関連する学問に対する高度な専門的知識・技能，情報収集能力や高度な倫理性を持って，人間が抱える諸問題を自ら研究立案し，科学的根拠に基づいて解決に導く卓越した研究能力を身に付けるため、看護学大講座、栄養学大講座、保健福祉学大講座を置き、各大講座に学術的創造性に富んだ研究成果を上げる能力を養成する特別研究科目群を配置しています。

B. 【グローバルな情報発信能力】

研究成果を地域・世界に向けて積極的に発表するグローバルな情報発信能力並びに地域・国際社会で先導的に活躍できる能力を身に付けるため、看護・栄養・保健福祉の高度な専門的知識と幅広い応用力に加え、科学的基盤に基づいて自立的に研究できる能力を身に付ける特別研究を配置しています。

博士論文の作成及び公表を通して、自らの得た成果を地域・世界に向けて発表するグローバルな情報発信能力並びに地域・国際社会で活躍できる能力を身に付けます。

保健福祉学研究科保健福祉科学専攻授業科目表(2022年度入学生用)

授業科目の名称	授業の方法	担当教員 (*印は非常勤講師)	配当 年次	開講 時間数	単位数	
					必修	選択
看護学 大講座	基礎看護科学特別講義Ⅰ	講義 森本美智子	1・2・3	30		2
	基礎看護科学特別講義Ⅱ	講義 荻野 哲也	1・2・3	30		2
	基礎看護科学特別講義Ⅲ	講義 佐々木新介	1・2・3	30		2
	成人看護科学特別講義Ⅰ	講義 名越 恵美	1・2・3	30		2
	成人看護科学特別講義Ⅱ	講義 未定	1・2・3	30		2
	成人看護科学特別講義Ⅲ	講義 住吉 和子	1・2・3	30		2
	老年看護科学特別講義	講義 實金 栄	1・2・3	30		2
	小児看護科学特別講義	講義 沖本 克子	1・2・3	30		2
	母性看護科学特別講義Ⅰ	講義 岡崎 愉加	1・2・3	30		2
	母性看護科学特別講義Ⅱ	講義 未定	1・2・3	30		2
	地域看護科学特別講義Ⅰ	講義 森永裕美子	1・2・3	30		2
	地域看護科学特別講義Ⅱ	講義 未定	1・2・3	30		2
	精神看護科学特別講義	講義 井上 幸子	1・2・3	30		2
	看護学特別研究	演習 森本美智子、荻野哲也、住吉和子、 森永裕美子、沖本克子、岡崎愉加、 未定、實金栄、名越恵美、 井上幸子、佐々木新介	1～3	240	8	
栄養学 大講座	内科学特別講義	講義 入江 康至	1・2・3	30		2
	遺伝子工学特別講義	講義 田中 晃一	1・2・3	30		2
	分子細胞生物学特別講義	講義 山本 登志子	1・2・3	30		2
	食品機能科学特別講義	講義 伊東 秀之	1・2・3	30		2
	脂質分子病態科学特別講義	講義 高橋 吉孝	1・2・3	30		2
	食品酵素科学特別講義	講義 中島 伸佳	1・2・3	30		2
	食品栄養科学特別講義	講義 山下 広美	1・2・3	30		2
	栄養予防治療科学特別講義	講義 川上 貴代	1・2・3	30		2
	公衆栄養学特別講義	講義 久保田 恵	1・2・3	30		2
	臨床栄養管理学特別講義	講義 首藤 恵泉	1・2・3	30		2
	食品調理科学特別講義	講義 未定	1・2・3	30		2
	機能分子科学特別講義	講義 川上 祐生	1・2・3	30		2
	東アジア栄養学特別講義	講義 李 奎姫*、方 定志*	1・2・3	30		2
	栄養学特別研究	演習 山本登志子、入江康至、伊東秀之、 高橋吉孝、山下広美、川上貴代、 田中晃一、川上祐生	1～3	240	8	
保健福祉学 大講座	保健福祉政策特別講義	講義 岩満 賢次	1・2・3	30		2
	家族保健福祉学特別講義	講義 近藤 理恵	1・2・3	30		2
	高齢者保健福祉学特別講義Ⅰ	講義 中村 光	1・2・3	30		2
	高齢者保健福祉学特別講義Ⅱ	講義 中村 光	1・2・3	30		2
	障害者保健福祉学特別講義Ⅰ	講義 高戸 仁郎	1・2・3	30		2
	障害者保健福祉学特別講義Ⅱ	講義 坂野 純子	1・2・3	30		2
	心理臨床学特別講義	講義 樂木 章子	1・2・3	30		2
	子ども臨床特別講義Ⅰ	講義 山本孝司、新山 順子	1・2・3	30		2
	子ども臨床特別講義Ⅱ	講義 未定	1・2・3	30		2
	地域保健福祉学特別講義Ⅰ	講義 村社 卓	1・2・3	30		2
	地域保健福祉学特別講義Ⅱ	講義 竹本 与志人	1・2・3	30		2
	国際保健福祉学特別講義	講義 近藤 理恵、岩満 賢次	1・2・3	30		2
	保健福祉学特別研究	演習 高戸仁郎、近藤理恵、中村光、 坂野純子、樂木章子、山本孝司、 村社卓、竹本与志人	1～3	240	8	
<p>【修了要件】 次の要件を全て充足すること。 1 3年以上在籍すること。ただし、特にすぐれた業績を上げた者については、1年以上在籍すれば足りるものとする。 2 所属する大講座の特別講義2単位以上、特別研究8単位、合計10単位以上を修得すること。 3 指導教員から研究指導を受けて作成した博士論文を在学中に提出し、その審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>【注意事項】 特別研究は、選択した大講座の特別研究を積算して3年間履修した後に単位認定される。ただし、特に優れた業績を上げた者については、1年以上の履修後、単位認定する場合がある。</p>						

保健福祉学研究科 保健福祉科学専攻(博士後期課程)

〈看護学大講座〉

	月6限	火6限	水6限	木6限	金6限	土6限	集中
前期	看護学特別研究 1年次生 2年次生 3年次生 〈研究指導教員〉	基礎看護科学特別講義Ⅱ 〈荻野〉	成人看護学特別講義Ⅰ 〈名越〉		基礎看護科学特別講義Ⅰ 〈森本〉	地域看護科学特別講義Ⅱ 〈未定〉	
		小児看護科学特別講義 〈沖本〉	基礎看護科学特別講義Ⅲ 〈佐々木〉	老年看護科学特別講義 〈貫金〉	母性看護科学特別講義Ⅰ 〈岡崎倫〉		
		地域看護科学特別講義Ⅰ 〈森永〉	母性看護科学特別講義Ⅱ 〈未定〉	精神看護科学特別講義 〈井上幸〉			
後期	看護学特別研究 1年次生 2年次生 3年次生 〈研究指導教員〉	成人看護科学特別講義Ⅲ 〈住吉〉			成人看護学特別講義Ⅱ 〈未定〉		

〈栄養学大講座〉

	月6限	火6限	水6限	木6限	金6限	集中
前期	栄養学特別研究 1年次生 2年次生 3年次生 〈研究指導教員〉			食品栄養科学特別講義 〈山下〉	分子細胞生物学特別講義 〈山本登〉	東アジア栄養学特別講義(8月) 〈季*・方*〉
						公衆栄養学特別講義 〈久保田〉
						栄養予防治療科学特別講義 〈川上貴〉
後期	栄養学特別研究 1年次生 2年次生 3年次生 〈研究指導教員〉	食品調理科学特別講義 〈未定〉	食品酵素科学特別講義 〈中島〉	内科学特別講義 〈入江〉	遺伝子工学特別講義 〈田中〉	食品機能科学特別講義 〈伊東〉
		臨床栄養管理科学特別講義 〈首藤〉		機能分子科学特別講義 〈川上祐生〉		脂質分子病態科学特別講義 〈高橋吉〉

〈保健福祉学大講座〉

	月5限	月6限	火5限	火6限
前期	地域保健福祉学特別講義Ⅱ 〈竹本〉	子ども臨床特別講義Ⅱ 〈未定〉	子ども臨床特別講義Ⅰ 〈山本孝、新山〉	高齢者保健福祉学特別講義Ⅰ 〈中村〉
後期	心理臨床学特別講義 〈柴木〉	障害者保健福祉学特別講義Ⅱ 〈坂野〉	障害者保健福祉学特別講義Ⅰ 〈高戸〉	
	水5限	水6限	木5限	木6限
前期	地域保健福祉学特別講義Ⅰ 〈村社〉	高齢者保健福祉学特別講義Ⅱ 〈中村〉		
後期	保健福祉政策特別講義 〈岩満〉			家族保健福祉学特別講義 〈近藤〉
	金5限	金6限	集中	
前期		保健福祉学特別研究 1年次生 2年次生 3年次生 〈研究指導教員〉		
後期		保健福祉学特別研究 1年次生 2年次生 3年次生 〈研究指導教員〉	国際保健福祉学特別講義 〈近藤、岩満〉	

履修上の留意事項

◎ 教室は、別途指示する。
◎ 各特別研究は、1年次から3年次にかけて開講される3年間の通年科目である。

保健福祉科学専攻 カリキュラムマップ

授 業 科 目 の 名 称		学位授与の方針に対する関与の程度 ◎:各方針に関係が深い科目 ○:各方針に関係する科目	
		A	B
看護学大講座	基礎看護科学特別講義Ⅰ	◎	
	基礎看護科学特別講義Ⅱ	◎	
	基礎看護科学特別講義Ⅲ	◎	
	成人看護科学特別講義Ⅰ	◎	
	成人看護科学特別講義Ⅱ	◎	
	成人看護科学特別講義Ⅲ	◎	
	老年看護科学特別講義	◎	
	小児看護科学特別講義	◎	
	母性看護科学特別講義Ⅰ	◎	
	母性看護科学特別講義Ⅱ	◎	
	地域看護科学特別講義Ⅰ	◎	
	地域看護科学特別講義Ⅱ	◎	
	精神看護科学特別講義	◎	
	看護学特別研究	◎	◎
栄養学大講座	内科学特別講義	◎	
	遺伝子工学特別講義	◎	
	分子細胞生物科学特別講義	◎	
	食品機能科学特別講義	◎	
	脂質分子病態科学特別講義	◎	
	食品酵素科学特別講義	◎	
	食品栄養科学特別講義	◎	
	栄養予防治療科学特別講義	◎	
	公衆栄養学特別講義	◎	
	臨床栄養管理学特別講義	◎	
	食品調理科学特別講義	◎	
	機能分子科学特別講義	◎	
	東アジア栄養学特別講義	◎	
	栄養学特別研究	◎	◎
保健福祉学大講座	保健福祉政策特別講義	◎	
	家族保健福祉学特別講義	◎	
	高齢者保健福祉学特別講義Ⅰ	◎	
	高齢者保健福祉学特別講義Ⅱ	◎	
	障害者保健福祉学特別講義Ⅰ	◎	
	障害者保健福祉学特別講義Ⅱ	◎	
	心理臨床学特別講義	◎	
	子ども臨床特別講義Ⅰ	◎	
	子ども臨床特別講義Ⅱ	◎	
	地域保健福祉学特別講義Ⅰ	◎	
	地域保健福祉学特別講義Ⅱ	◎	
	国際保健福祉学特別講義	◎	
	保健福祉学特別研究	◎	◎

保健福祉科学専攻DP

DP(学位授与の方針)
<p>A【高度の専門性と自立した研究遂行能力】 保健福祉科学とそれに密接に関連する学問に対する高度な専門的知識・技能、情報収集能力や高度な倫理性を持って、人間が抱える諸問題を自ら研究立案し、科学的根拠に基づいて解決に導く卓越した研究能力を身に付けている。</p>
<p>B【グローバルな情報発信能力】 研究成果を地域・世界に向けて積極的に発表するグローバルな情報発信能力並びに地域・国際社会で先導的に活躍できる能力を身に付けるため、看護・栄養・保健福祉の高度な専門的知識と幅広い応用力に加え、科学的基盤に基づいて自立的に研究できる能力を身に付けている。</p>